

《専門教育科目 幼稚園教諭免許状関連科目 教育の基礎的理解》

科目名	教育原理				
担当者氏名	恒川 直樹				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・必修	開講年次・開講期	1年・後期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(幼) - 教育の基礎的理解に関する科目 (幼) - 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 (保) - 保育の本質・目的に関する科目				

《授業の概要》

教育-保育の実践は、様々な法規や社会制度を土台として成り立ち、それらの背景には理論や思想の歴史的な流れがあります。また、実践は現代の社会の動きや価値観と切り離せません。こうしたことを踏まえて本授業では、制度的な教育-保育の始まりから現在に至るまで、より良いあり方を模索してきた先人たちの考えや取り組みなどを歴史的に概説します。そのなかで、現代の教育-保育の制度や理論、実践を考えるために、基本的な考え方を紹介しながら、「子どもと保育者の関係」を軸とした視点を獲得できるように整理します。また、認定こども園の課題、小学校教育との関係など、現代の保育者が直面する変化や課題について紹介し、教育-保育の意味と課題を考えます。

《授業の到達目標》

1. (理念) 教育-保育の基本的な考え方を理解し、「子どもと保育者の関係」を軸とした視点から、教育-保育の制度や実践の意味を考える力を身につける。
2. (歴史) 幼稚園や保育所等の前史、誕生、発展についての歴史的-社会的な知識を獲得し、幼児教育の時代を超えた意義と現代における変革の概要を理解する。
3. (思想) 現代の幼児教育につながる主要な教育思想の流れを人物史に即して理解し、現代の実践におけるその影響を認識する。

《成績評価の方法》

小テスト50%、課題(ワークシート、課題研究)35%、平常点(コミュニケーションシート)15%

《参考図書》

授業内で適宜紹介します。

《教科書》

プリント等を適宜配付します。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：P01  
 担当形態：単独  
 幼稚園教諭：必修  
 保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

保育施設での勤務経験を踏まえ、理論や思想、法規や制度等の歴史と現状を現場実践と関連づけながら講義する。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	教育の温故知新	教育の歴史・社会・思想を学ぶ意義を知り、保育者の価値観と子どもの育ちの関係を考える。 / これまで自分が受けてきた保育・学校教育の印象や、保育者・教師との関わりを思い起こしておく。【30分】
2	教育の制度と社会(1)	幼児教育の制度と社会における役割を、戦後の社会の変容と関連づけながら認識する。 / 幼稚園と保育所の違いについて、既知していることを整理しておく。【30分】
3	教育の制度と社会(2)	新制度における認定こども園と保育教諭の概要を学び、子どもと保育者の関係の本質を考える。 / 自宅の近隣にどれくらい認定こども園があるか確認しておく【30分】
4	西洋の教育の歴史と思想(1)	古代から宗教改革、市民革命までの歴史を概観し、義務教育と学ぶ権利の誕生、現代の生涯学習社会到来を学ぶ。 / 地域の図書館を訪れて、図書館が住民に生涯学習の機会をどう保障しているか確かめる。【30分】
5	西洋の教育の歴史と思想(2)	児童中心主義・経験主義の流れを、コメニウス、ルソー、ペスタロッチらの実践と思想から学ぶ。 / コメニウス等の思想や実践が、自分が受けてきた現代教育に与えた影響を考えて整理する。【30分】
6	西洋の教育の歴史と思想(3)	幼稚園の誕生と発展について、フレーベルの実践と思想から詳細に学び、近代幼児教育の誕生を学ぶ。 / 保育所や幼稚園の園庭や積木等の玩具の特徴を整理し、フレーベルの与えた影響を確かめる。【30分】
7	西洋の教育の歴史と思想(4)	産業革命期の社会と家庭の変容を概観し、オウエン、モンテッソーリの幼児教育施設の役割を学ぶ。 / 産業革命と児童労働の問題について高校までに習得した知識を整理しておく。【30分】
8	諸外国の幼児教育	諸外国における現代の幼児教育の制度と実践を知り、日本との共通性や違いを考える。 / これまでの実習経験等を思い起こし、外国の幼児教育の実践との共通点や違いを考える。【30分】
9	日本教育史(1)	江戸期の子育てや寺子屋の実践を通じて、家庭や地域に根差す伝統と現代の学校教育の関係を知る。 / 江戸時代の庶民生活について高校までに習得した知識を整理しておく。【30分】
10	日本教育史(2)	東京女子師範学校附属幼稚園の誕生から日本の幼稚園の黎明期と後世への影響について学ぶ。 / 日本初の幼稚園と現代の幼稚園の共通点と違いを整理する。【30分】
11	日本教育史(3)	明治期の社会の変容と関連付けて幼稚園の発展と保育所の誕生、幼保二元体制について学ぶ。 / 第2回で学んだ幼稚園と保育所の二元制度が生まれた経緯を明治～大正の歴史から整理する。【30分】
12	日本教育史(4)	大正自由教育運動と、倉橋惣三、城戸幡太郎らによる現代の幼児教育の基礎的な実践と理論を学ぶ。 / 大正時代の日本社会について高校までで習得した知識を整理しておく。【30分】
13	現代の教育課題	幼児教育と小学校教育の関係と連携について、「保育」と「授業」の共通性と違いを軸に考える。 / 自分の小学校時代の授業のあり方について思い起こし、幼児教育との違いについて考える。【30分】
14	西洋の教育の歴史と思想(5)	【課題研究】デューイ、エレン・ケイらの新教育運動の実践から、子どもと教育をめぐる現代の価値観を学ぶ。 / これまでの「総合的な学習の時間」を思い出し、他の授業との違いを整理しておく。【90分】
15	日本教育史(5)	【課題研究】戦時から戦後復興期の子どもの実態を知り、戦後幼児教育の変遷について学ぶ。 / 戦時中、戦後の日本社会について高校までで習得した知識を整理しておく。【90分】